

# 第35回 岩手ダービー

## ダイヤモンドカップ<sup>®</sup> 優勝賞金500万円 (ナカヤマフェスタ賞)

スタート後に坂をのぼり、そしてゴール直前に再び坂が待ち受けるのが、盛岡競馬場の舞台設定。底力があるかどうかが問われるコースだ。

### 注目の競走馬



### スペクトル

父 / スニツェル  
母 / オトハチャン  
母父 / チーフベアハート

馬主 / 山本 武司  
調教師 / 櫻田 浩三  
生産者 / びらとり牧場

**注目点** これまで大きく崩れたのは、北海道所属馬との交流競走、知床賞での5着のみ。逃げ脚をいかすタイプ

ブだけに後続の目標になりやすい面はあるが、やまびこ賞では2着以下を寄せ付けぬ走劇で圧勝。大型の馬体が生み出すスピードには、引き続き注目だ。



### トーホクライデン

父 / ウイングアロー  
母 / アキノクロス  
母父 / タマモクロス

馬主 / 榎フォレブルー  
調教師 / 櫻田 浩樹  
生産者 / 榎フォレブルー

**注目点** 2歳秋に短距離戦で勝利を挙げたが、その後は善戦止まりという状況。それでも7戦連続で3着以内に

入るなど、相手なりに走れるという面はプラス材料で、大舞台でも善戦以上が期待できそう。ちなみに本馬は青森県生まれ。



### グッドギアー

父 / スカマンボ  
母 / ワンモアフリート  
母父 / アフリート

馬主 / 川村 初美  
調教師 / 櫻田 康二  
生産者 / グランド牧場

**注目点** 北海道所属時は11戦1勝だったが、岩手移籍を機に素質が開花して、転入初戦から6戦連続で連対。留

守杯日高賞では5着に敗れたが、それでも岩手所属馬では最先行。マイペースの逃げ先行ならばといタイプで、残り目には警戒が必要だろう。

### コース紹介

#### 盛岡競馬場 2000m

- 左回りコース
- 1周1600m
- 幅25m
- ダービー出走可能頭数12頭



**コース** 日本で唯一となる、ダートコースの内側に芝コースがある配置。ダートコースは1周1600mと広大で、昨年のJBCでは16頭立てでレースが行われたが、岩手ダービーは12頭が最大出走可能頭数に設定されている。ホームストレッチに用意されている上り坂が、このコースの最大の難所。ダートコースの高低差4.4mは、地方競馬ではもっとも大きいものである。

**アクセス** 盛岡駅東口バスロータリーの8番乗り場から、9時30分～13時30分まで、毎時30分発で無料バスを運行。帰路は14時発から最終レース後まで無料バス4本を運行している(所要時間は約30分)。盛岡駅からタクシーを利用すると2500円前後。そのほかに公共交通機関はないので注意が必要だ。盛岡競馬場には無料駐車場が用意されているので、レンタカーで向かうという方法もある。

単勝	○	枠番連複	○	馬番連複	○	ワイド	○	3連単	○
複勝	○	枠番連単	×	馬番連単	○	3連複	○	重勝式	○



「ダービージョッキーに聞く」

ダービーの思い出

岩手ダービーダイヤモンドカップ  
山本 政聡 騎手

2012年に岩手ダービーを制した山本政聡騎手のパートナーは、アスペクト。「走る馬って、こういう感じなんだ」ということを教わったと言います。「馬が何を考えているんだろうと、自分も考えながら乗る。そういうやりとりができた馬でした」と、振り返ります。

「2歳時から何度も乗っていましたが、力を付けていく過程や、調子が上がる時、逆に下がる時も背中の上で感じる事ができました。それを一緒に感じながら進んできたからこそ、アスペクトの力を信じて乗ることができたと思います。そうやって馬の成長と一緒に感じながら戦えるのが、3歳のビッグレースの楽しさであり騎手の面白さですね」と、大舞台を制した経験は、山本政聡騎手のなかに生きている様子だ。「自分にとって岩手ダービーは、古馬の大レースに匹敵するほどの価値があります。もちろんどのレースも勝ちたいですが、1年のなかではまずこのレース。とくにここ何年かは良い馬に乗せてもらっていますから、その期待に応えたいです」と、2回目の勝利に向けて気合が入っている。